

2021年2月26日

オリンパス、イスラエル医療機器会社 Medi-Tate 社の買収に向けた コールオプション行使

～泌尿器事業における低侵襲治療製品ポートフォリオ強化～

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼CEO：竹内康雄、以下オリンパス）は、2018年11月の両社の合意契約に基づき、医療機器メーカーMedi-Tate社（メディテイト、本社：イスラエル ハデラ、以下Medi-Tate社）のすべての発行済株式（ただし当社が保有済みの株式を除く）取得のための交渉を開始することを決定しました。合計の取得価額は約260百万ドル^{※1}を予定しています。オリンパスは、今後Medi-Tate社の持つ良性前立腺肥大症（以下BPH）向けの低侵襲治療デバイスを製品ポートフォリオに加えることで、多様化する前立腺疾患の低侵襲治療の普及に貢献していきます。

※1 取得価額は、出資額、株式の取得価額、条件付対価を含む。

Medi-Tate社は、BPH向けの低侵襲治療デバイスの研究開発、製造を行う医療機器メーカーです。同社の製品「iTind（アイティンド）」は北米、およびCE認証に基づき欧州の一部地域で販売されています。当社は2018年11月からMedi-Tate社への出資を開始し、出資時の契約には同社の製品を販売する権利と、同社の株式を100%取得できる権利（コールオプション）が含まれていました。

オリンパスは、2019年11月に発表した経営戦略のひとつとして、「治療機器事業への注力と拡大」を掲げ、同事業において特に消化器科、泌尿器科、呼吸器科の3つを注力分野としています。Medi-Tate社への出資および買収の決断はまさにこの戦略に基づいています。iTindの2年以上の販売経験を通じ、本製品の医学的価値とBPH治療における将来性が高いことを確信すると同時に、当社の低侵襲治療向けポートフォリオの拡充に貢献しうるものであると判断したため、コールオプションを行使し、買収交渉を開始することを決定しました。

BPHは高齢男性に多く見られ、下部尿路症状（LUTS）の原因として最も一般的な疾患です。米国泌尿器科学会は、男性の10人に8人が、一生に一度はBPHを発症するとしており、また、この割合は年齢が高くなるほど大きくなっていくとしています^{※2}。高齢化社会に伴い、今後BPH治療へのニーズも拡大していくことが予想されます。BPHの一般的な治療方法は、投薬治療と外科的治療で、オリンパスは 外科的治療のひとつである経尿道的前立腺切除術（TURP）に用いるデバイス（レゼクトスコープ、切除用電極など）を開発、製造、販売しています。一方で近年は、入院を要する外科的治療だけでなく、クリニックでの日帰り治療を可能にするデバイスが現れ、選択肢が多様化しています。

※2 出典：American Urological Association, Benign Prostatic Hyperplasia.

<https://www.auanet.org/education/auauniversity/medical-student-education/medical-student-curriculum/bph>

iTindは、一時的に尿道に留置するナイチノール製のワイヤーデバイスで、前立腺肥大による下部尿路症状を緩和するための処置具です。iTindを折り畳んだ状態で尿道に留置し、5～7日間をかけて3方向に圧力をかけ尿道を広げることで排尿障害の改善をサポートします。

オリンパスの COO（最高事業責任者）であるナチョ・アビア（Nacho Abia）は、「Medi-Tate 社への出資により、市場をリードする当社の TURP（経尿道的前立腺切除術）用デバイスのポートフォリオに加え、BPH の低侵襲治療分野の製品ラインアップを拡大することができました。Medi-Tate 社との提携は、泌尿器事業の成長を牽引する重要な戦略であり、これによって当社は、医療コストの削減、患者さんの QOL 向上にさらに貢献してまいります。」と語っています。

< Medi-Tate 社概要 >

- 会社名：Medi-Tate Ltd.
- 本社所在：イスラエル ハデラ
- 設立年月日：2007年2月
- CEO：Ido Kilemnik
- 資本金：1百万円^{※3}（2020年9月末時点）
- 事業内容：医療機器の開発・製造
- 従業員数：13名

※3 1ドル=104.48円（2021年1月末の為替レート）で換算。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスの医療分野について

オリンパスの医療分野は、リーディング・メドテックカンパニーとして、革新的な技術と製造技術で医療従事者のみなさまとともに歩んでまいりました。診断そして低侵襲治療において、より良い臨床結果を生み、医療経済にベネフィットをもたらし、世界の人々の健康やQOL向上に貢献してまいります。

医療分野の製品ポートフォリオは、軟性内視鏡、硬性鏡、ビデオイメージングシステムから、外科用デバイス、システムインテグレーション、修理サービス、そして診断・治療用処置具のラインアップに至るまで、幅広い製品・サービスを提供しています。詳しくはwww.olympus.co.jp/をご覧ください。